

2026年度 事業計画

<会長挨拶>

昨年10月、我が国初の女性首相として高市早苗氏が第104代内閣総理大臣に指名されました。党総裁選、総理指名選挙と難局を持ち前のバイタリティと決断力で切り抜けて、少数与党ながら新たな連立の枠組みを活かして政策を果敢に実行、高い国民的人気を博してまいりました。さらに年が明けた1月、国会冒頭に衆議院を解散し、2月の総選挙で大勝、その政権基盤を確かなものとし、さらに大胆な政策を実行しようとしております。「日本列島を、強く、豊かに」、「挑戦しない国に未来はない」という高市氏のメッセージは、JNBの目指すものとまさに一致しております。全国のNBCと協力し、地方が発展し日本全体が豊かになるという理想に向かって高市政権とともに努力していきたいと思います。

他方、世界では剥き出しの力による現状変更が常態化しつつあります。米国は年初から中南米やグリーンランドなどで西半球の盟主を自認し、権益を手中に収めようと手段を選ばない様相です。ウクライナやイスラエル・ガザの紛争は泥沼化し、欧州各国の政治も移民問題やスキャンダルで揺れ動いております。アジアにおいても台湾や北朝鮮の安全保障リスクはますます増大し、米中対立の中、日本の立ち位置も不安定にならざるを得ません。JNBとしても内外の有識者から情報を収集し、JNBセミナーなどを通じて皆様と情報を共有し、自然災害やAIの急速な発展に伴う社会変容も含め、変化をチャンスととらえ、JNB・NBCの仲間の皆様と研鑽を積みながらしっかりと対応していきたいと思います。

さて、今年年初からイタリアにてミラノ・コルチナ冬季オリンピックが開催されております。オリンピックは国家間の争いの側面もありますが、特に若い競技者の間では競技終了後に国境を越えてライバルの健闘を称えあう姿を頻りに目にします。～“対立しつつ、調和する”、“切磋琢磨して、互いに成長する”～実社会にも通ずる理念だと思います。昨年10月の第21回全国フォーラムin九州では598名の同志が参加され、大いに対面での開催を楽しむことが出来ました。運営に当たられた九州ニュービジネス協議会の皆様には、改めて感謝申し上げます。

また、1月27日にはJNB20周年・東京NBC40周年記念式典を高円宮妃殿下をお迎えして盛大に挙行することが出来ました。長年にわたり当会発展に尽力くださった先輩方に心から感謝申し上げます。

この勢いで、今年予定されている10月の第22回全国フォーラムin神奈川では、より一段スケールの大きな大会となることを期待しています。切磋琢磨し合う仲間感謝しつつ、再び横浜にてお会いできることを楽しみにしております。

I 基本方針

1. 基本方針

(1) グローバルで多様性のある視野と感覚を持つ

世界を取り巻く情勢は、製品やサービス、人材等の多様性が求められ、変化の速度を上げています。

これまで国内だけに向けがちだった視線を海外に向け、グローバルなニーズとビジネスチャンスを的確に掴むことを心がけましょう。

(2) 常にイノベーションを意識し、新陳代謝の旺盛な企業文化を創造しよう

百年企業であろうと十年企業であろうと、常に時代に沿ったイノベーションが出来ればこそ勝ち残っているのです。

現状を守るだけでなく、感度の高いアンテナを張って、新陳代謝に努めましょう。

(3) チャレンジを是とする社会を作ろう

失敗を恐れず果敢に行動する、すなわちチャレンジを是とし常識とする社会を作っていく必要があります。

現在のような「リスクを回避する社会」から、「リスクを取らないことがすなわちリスクである」という認識を常識とする社会へと反転させ、次世代へとつないでいきましょう。

(4) 地域特性を大事にする社会を作ろう

地域に個性と魅力あるビジネスを展開する企業があり、地域全体が活力ある自立を健全に果たしていることが、日本の未来を切り開いていくために不可欠です。

インキュベーションの母体となる地域、絆ある故郷となりうる地域を育て、日本の中央集権システムがもたらしてきた弊害を克服していきましょう。

(5) ベンチャービジネスを軸とした起業エコシステムを構築しよう

成熟した日本社会の方向性を「創造と成長」へと転換する一つの鍵は、ベンチャービジネスです。今企業を取り巻く環境は、全てを自社でまかなう垂直統合型では、グローバルな競争に生き残れない時代へとシフトしてきています。

スピード感とシャープさを持ってベンチャービジネスを作り出し、日本経済の再生を図っていきましょう。

2. 運営方針

(1) 地域連携イベントとハイブリッド型セミナーによる全国情報発信

全国から容易に参加できるオンラインセミナーを継続して開催するとともに、各地域協議会と連携し、会場開催とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド型イベントの企画・実行を引き続き推進する。併せて、全国の地域協議会との連携調整を強化し、意見交換会やテーマ別の合同イベントの開催を計画的に進めることで、NBCが持つ全国ネットワークのスケールメリットを最大限に活かした取り組みを展開する。また、各地域の課題や成果を共有する仕組みを整え、相互学習と協働を促進することで、全国的な活動基盤の強化を図る。

(2) 政府や関係省庁への政策提言を実施

全国の企業にとってプラスとなる政策の実現を目指し、地域協議会から寄せられた要望に加えて、ベンチャー・ニュービジネスに関する政策提言を取りまとめ、状況に応じて関係大臣、関係国会議員および関係省庁への働きかけを行っていく。これらの取り組みを通じて、全国規模でのビジネス環境の改善と、ベンチャー・ニュービジネスの成長を後押しする政策の実現を図る。

(3) 経済産業省、内閣府、文部科学省をはじめとした、関係省庁の有益な情報提供

経済産業省の各種政策や、文部科学省が推進する「アントレプレナーシップ推進事業」など、関係省庁との連携を強化し、有益な情報を全国の会員へ適時・的確に提供する。また、情報提供にとどまらず、オンラインセミナー等を通じて担当官に直接登壇いただく機会を設け、より専門性の高い情報発信を行うとともに、参加者が相互に意見交換できる場を企画・運営する。

(4) 関係機関との連携

中小企業基盤整備機構、日本ベンチャー学会、JETRO、日本政策金融公庫、日本生産性本部など、関係団体との連携を一層促進し、各団体と地域協議会との連携調整を進めることで、地域協議会の活動を効果的にサポートする。併せて、関係機関との共同イベントの企画・実施を図り、相互のネットワークを活かした取り組みを推進する。

(5) 全国会員管理システムの名簿の整備と今後の展開

2025年度に構築した「全国会員管理システム」を活用し、全国の会員に対して政策情報や各地域協議会が開催するセミナー等を直接かつ迅速に告知する体制を整備する。また、会員の属性やニーズに応じた情報提供を可能とするため、システムの運用改善を継続的に進める。さらに、今後の会員企業間のマッチングについても検討を進め、業種・地域を越えた交流や協業の機会を創出する仕組みづくりを目指す。これにより、全国ネットワークとしての価値を高め、会員企業の成長支援につながる新たな取り組みを推進する。

II 事業・活動

1. 委員会事業

(1) 総務委員会 / 公益事業

新事業創出フォーラム全体を管掌すると共に、当該フォーラムの開催により実施地域に於ける官民全体のイノベーション意識の高揚を促し、チャレンジ社会作りを推進する。

(2) 政策委員会 / 公益事業

- ① 国家戦略、規制改革、地域活性等、調査・研究を踏まえ、提言・情報提供を行う。
- ② 最新のベンチャー・ニュービジネスに係わる情報や企業のイノベーションの情報等を発信し、Web上で広く一般にも開放する。

(3) 交流委員会 / 公益事業（※海外視察）

- ① 海外視察、海外交流等により、海外の最新ビジネスを紹介する。
- ② 国内視察や地域間交流と共に、会員拡大の支援を行う。

(4) ベンチャー委員会 / 公益事業

ベンチャーの創業・育成を支援すると共に、大企業・VCを巻き込んだ起業エコシステムの実現に向け活動する。
また、関係省庁・関係団体、経営者によるセミナーを開催し、企業経営における情報の発信を行っていく。

(5) 新事業創出大賞委員会 / 公益事業

ニッポン新事業創出大賞の審査並びに表彰式典を担当する。

(6) 規制改革委員会 / 公益事業

規制改革に特化して調査・研究・提言等を行う。

(7) 起業家育成委員会 / 公益事業

若年層の起業家育成や起業家予備軍へのアプローチを行う。
地域協議会はもちろん、関係省庁・関係団体との連携による、イベントの開催や経営者との意見交換を行うことで、「起業」を目指す若年層の意識を醸成し、将来の経営者を生み出すための取組みを行っていく。

以上